

令和2年度東日本大震災アーカイブシンポジウム

－これまでの10年とこれからの10年－

開催のお知らせ

国立国会図書館と東北大学災害科学国際研究所は、「東日本大震災アーカイブシンポジウム」を開催いたします。

令和3年は東日本大震災の発災から10年の節目の年となります。この間、各地で東日本大震災に関するアーカイブが構築され、国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）を通じた連携が実現しています。

本シンポジウムでは、東日本大震災の被災地における震災アーカイブの事例報告を行うほか、震災アーカイブに関する有識者を招き、東日本大震災に関するアーカイブのこれまでの取組を総括し、今後の方向性について議論します。

○日時及び開催方法

日 時：令和3年1月11日（月・祝日） 午後2時から4時まで
開催方法：ウェブ会議システム（Zoom）によるオンライン開催

○申込み方法

- (1)定 員：300名（先着順。定員に達した時点で申込受付を終了します。）
- (2)参加費：無料
- (3)申込み：下記 URL のシンポジウム案内にある申込みフォームからお申込みください。
<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>（みちのく震録伝）

問合せ先：

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野

担当：小野、柴山

電話番号：022(752) 2099

E-mail アドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

○プログラム（敬称略）

事例報告

「大槌町震災アーカイブ～つむぎ～の取組について」

大槌町副町長 北田竹美

「東日本大震災・原子力災害伝承館における取組について」

福島イノベーション・コースト構想推進機構東日本大震災・原子力災害伝承館

事業課課長代理 瀬戸真之

総括報告

「東日本大震災アーカイブ宮城の10年」

宮城県図書館資料奉仕部震災文庫整備班主事 日比遼太

「メディアと震災アーカイブの10年」

NHK 放送文化研究所メディア研究部 山口 勝

「震災アーカイブの10年－ひなぎくとの連携を通じて」

国立国会図書館電子情報部主任司書 中川 透

「震災アーカイブのこれまでの10年とこれからの10年」

東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山明寛

パネルディスカッション

「これまでの10年とこれからの10年」

（進行）

東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山明寛

（パネリスト）岩手大学教授、東日本大震災津波伝承館運営協議会会長

南 正昭

上記報告者全員